


みやぎ防災教育副読本「未来へのきずな」授業実践報告書

学校名 多賀城市立多賀城東小学校  
 実施クラス名： 3年1・2・3組  
 日時： 6月30日, 7月1・2日

- 1 教科名：学級活動
- 2 単元名：「学校にいるときに地震が起こったら」 P22・23
- 3 本時指導過程・学習の様子

基本テーマ(章)	第2章 自分の家は自分で守る	副読本	
目次	1 学校にいるときに地震が起こったら	22,23	
主な関連教科等	学級活動		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校にいるときの地震発生時のリスクと身を守るための行動を考えさせる。</li> <li>・揺れがおさまった後の安全な行動の仕方を理解させる。</li> </ul>		
	学習活動	指導上の留意点	
		<input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 準備物	
導入	1 地震の様子について知る。 	1 みやぎ防災教育副読本P10～13を参照し、地震の様子や被害について知らせる。 ・児童の精神的な負担とならないように留意する。	<input checked="" type="checkbox"/> みやぎ防災教育副読本P10～13
展開	2 全体で、教室にいるときの地震発生時のリスクと身を守る行動を考える。  3 3学年教室の写真を見て、「危険なこと」「身を守るための行動」「この場所で身を守るためにはこうしよう！」の3つの観点から、自分の考えを書く。  4 グループごとに場所を割り当て、校舎内の様々な場所の写真から、地震発生時のリスクと身を守る行動について考える。  〈活動①〉個人で考える。 2分 〈活動②〉個人の考えを基に、グループで話し合う。 3分	2 副読本P22を使用し、テレビにワークシートを投影し、正しい行動(O) 正しくない行動(X)を記入させながら、考えさせていく。  3 教室の写真を提示し、「もしここで地震が起きたら」という設定で、3つの観点について考えさせていく。 ・全体で進めることにより、ワークシートのかき方について理解させる。  4 校地内のよく利用する場所9カ所の写真を用意し、各グループに1カ所ずつ割り当て、考えさせる。(体育館、音楽室、階段、昇降口、視聴覚室、コンピュータ室、図書室、理科室、校庭) ・机間支援で、二次災害も含め、その場特有のリスクに気付かせる。	<input checked="" type="checkbox"/> 実物投影、テレビ <input checked="" type="checkbox"/> P12用ワークシート  <input checked="" type="checkbox"/> 宮城県総合教育センター：防災トレーニング(小学校中学年地震編ワークシート)  <input checked="" type="checkbox"/> 校舎内の9カ所写真 <input checked="" type="checkbox"/> グループ用発表シート  <input type="checkbox"/> 学校にいるときの地震発生

(活動③) グループで発表内容を発表用紙にまとめる。 2分  
 (活動④) グループの考えを提案し、他のグループの発表を聞く。 13分



5 身を守るための行動について、共有する。  
 ・先生の指示に従う。  
 ・指示が聞こえるように静かにする。  
 ・机の下に隠れる (シェイクアウト)。

6 地震発生時に、身を守るための行動についてまとめる。  
 ・ものが「落ちてこない、倒れてこない、移動してこない」場所に避難して、身を伏せ、両腕で頭を守る。

7 ワークシートに、「これからの生活に生かしていきたいこと」や「感想」を記入する。  
 ・「地震の時、頭に何かをかぶせる。」  
 ・「避難訓練をしっかりする。」

・グループの発表者を決めさせる (1名)。  
 ・グループで考えた各場所のリスクと身を守る行動を、代表者に発表させ、共有化を図る。

5 場所が違って行動の仕方に共通することを確認する。  
 ・身を守るための判断・行動の基準となることを副読本を参照しながらまとめ、理解させる。

6 副読本P22・23を参照しながら、「お・は・し・も」の約束も確認する。

7 代表者に発表させる。  
 ・今日学習したことを、家族に伝えることを家庭学習の課題とし、家庭での防災意識の向上につなげる。

時のリスクと身を守るための行動を考えることができたか。(ワークシート)

■副読本  
 P22・23  
揺れがおさまった後の安全行動を理解できたか。(発表・ワークシート)